科目名	スポーツ行政学　　Sports Administration						
科目担当者	田中 保通　　TANAKA Yasumichi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 経営学部・経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(2) (4)
授業の概要	スポーツ行政について、教科書に基づき講義を行います。 具体的には、スポーツ基本法の趣旨と内容を踏まえ、最初にスポーツの意義やスポーツ権についての理解を深めます。 次に、国や地方公共団体のスポーツ行政とスポーツ振興策について考察します。国や地方公共団体のスポーツ行政に関しては、実施体制、関連する機関や施設、具体的な取組について学んでいきます。 さらに、欧米諸国や他国のスポーツ行政の実態を学習することにより、それとの対比の中で我が国のスポーツ行政についての理解を深めます。						
授業の到達目標	① スポーツ基本法やスポーツ立国戦略など、スポーツ行政の基本となる法令や国の計画を理解する。 ② 法令や計画に基づく国及び地方自治体の具体的なスポーツ行政について学ぶ。 ③ スポーツ行政の対象が選手から国民一般へと拡大されてきた経緯を踏まえ、これからのスポーツ行政について考察する。						

授業計画・内容		
	1	スポーツ基本法制定とスポーツの定義
	2	基本的人権としてのスポーツ権
	3	スポーツの価値
	4	スポーツの自治
	5	スポーツのガバナンス
	6	スポーツのコンプライアンス
	7	我が国のスポーツ組織体制
	8	スポーツ振興にかかわる法令等
	9	我が国のスポーツ振興施策１（スポーツ立国戦略）
	10	我が国のスポーツ振興施策２（スポーツ基本計画）
	11	都道府県スポーツ行政の仕組みと取組
	12	市町村スポーツ行政の仕組みと取組
	13	学校でのスポーツ教育と部活動
	14	総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義
	15	欧米諸国のスポーツプロモーション

授業外学修 (事前学修)	スポーツ振興に関するニュースをチェックする。 次回の授業テーマについて調べ、興味や疑問がある点をノートにまとめておく。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を確認し、ノートを整理する。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 小テスト	100% 加点事由	①、②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『Reference Book』公益財団法人日本スポーツ協会
参考文献	必要に応じて資料を配付する。
その他	